

2017年5月の大統領選と、それに続いた6月の議会選挙が注目されていたフランスですが、そのフランスで、EDMOND DE ROTHSCHILD ASSET MANAGEMENT (FRANCE) の Head of the Responsible Investment Team を務める Jean-Philippe Desmartin 氏にお話をうかがいました。Jean-Philippe Desmartin 氏は、同社から発行されている「THE SRI CHRONICLES」(June 2017) にも、マクロン氏の SRI に関する政策を執筆されています。

彼によると、フランスでは15年前から、すべての年金基金に一つ以上の SRI ファンドへの投資が義務づけられ、その政策により SRI 残高は10倍以上になりました。今や市場の25%、1000億ユーロ以上が SRI で運用されており、すべてのステークホルダーがその結果に満足しているとのこと。

マクロン大統領は、大統領候補だった時、社会、環境に関する問題は経済モデルの核心であり、ヨーロッパ全体で推進していくことを述べています。持続可能な開発を進めていくために500億ユーロ、また、エネルギー政策の転換のために150億ユーロを投資することを提案しました。

さらにマクロン大統領は、フランスの銀行や生命保険会社が少なくとも一つの SRI ファンドを作ることをご提案していました。今後、すべてのファイナンシャルアドバイザーが顧客に SRI (ESG) 商品を勧めることを義務づけることも提案しているそうです。もちろん顧客は買わなくてもいいのですが、本当の目的は、ファイナンシャルアドバイザーに SRI の知識を身につけさせることなのだそうです。

また、前述の同誌では、ハンブルグ大学の Alexander Bassen 教授による「INVESTING IN ESG PAYS FINANCIALLY」という記事も紹介されています。金融資本主義の牙城のようなイメージのロスチャイルド銀行運用会社のニュースレターに、ESGに関するポジティブな研究結果の記事が掲載されており、ESGがここまでメインストリームになりつつあるのだと、隔世の感があります。

SRI は、企業の財務パフォーマンスから得られるリターンなどだけでなく、社会課題に熱心な企業に投資をすることで、社会課題の改善も期待できます。日本でもこうした分野がもっと発展するよう、今後も注力していきます。

参考資料：

EDMOND DE ROTHSCHILD ASSET MANAGEMENT (FRANCE)

June 2017 「THE SRI CHRONICLES」の中の

Jean-Philippe Desmartin 「A presidential term focused on responsible investing?」

Alexander Bassen 「INVESTING IN ESG PAYS FINANCIALLY」

<http://www.edmond-de-rothschild.com/SiteCollectionDocuments/asset-management/ISR%20chronicles/2017-06-EDRAM-EN-SRI-Chronicles.pdf>